

## コロナ禍後（アフターコロナ）の人事採用

現在、当院では、コロナ禍後を見据えて、常時人事採用の求人をしております。すでに新卒の学生が二人内定しております。

来週からお寺に住み込みお勤めから始めます。当院から学校にも通い親元から離れて自活をし、学費も自己負担を目指します。事務から重労働、遺体搬送まで何でも挑戦する覚悟であるといいます。寺院業務全般が習得出来た暁には、出家をして僧侶を目指すこともやぶさかではないそうです。

これからの僧侶はオールラウンドプレイヤー、まさに大谷翔平選手（MLB ロサンゼルス・エンゼルス所属）のような人が求められます。拝みだけでふんぞり返っている僧侶などいません。僧侶こそ三拍子揃って一人前です。年季奉公をして徹底的に鍛えていきます。衣食住を提供する代替えとして調理や書道の習得、職人さんについてのあらゆる施工にも挑んでもらいます。昔の丁稚（でっち）の再現です。寺子屋道場として、お寺も再起をかけます。ほとんどのお寺は、このコロナ禍の中で消滅をしていくことになるでしょう。当院は、徹底した人材教育の出来る寺院として生まれ変わります。書家もいます。大手互助会から指導者も採用しました。パソコン技術者も多数採用しております。

私個人も北は北海道から南は九州・沖縄まで、全国の視察を概ね終えようとしております。次は海外を目指します。

私の畏友に高野山真言宗の僧侶がいます。彼は高野山で七年間の修行をしました。その後一年をかけて全国の寺院を行脚（あんぎゃ）。終わって、都内の大手互助会に社員として勤務しました（四年間）。その後 IT 企業勤務（三年間）を経て独立。現在は事業家として活躍するかたわら、専門学校講師をしております。時に比叡山や身延山にも赴き、講師として指導を求められています。都内の寺院のコンサルタント。当院にも隔週で来られて経営指南、法務の実践をお願いしております。まさに「仏教界の大谷翔平」ここにありです。これからの厳しい寺院経営を考えたならこのくらいの人でなかったなら勤まらないしやっではいけないでしょう。

ちなみに来週から年季奉公で来られる学生二人は、彼の教え子です。  
尊敬する先生の紹介であれば捨て身で働かせてくださいと志願してきたそうです。死ぬ気でやりたいと。私もこんな獅子を待ちに待っていました。長く臍抜けした人たちに悩まされ続けてきたので漸くです。今後にご期待ください。

以上

## 今求められている人事の骨子

- ー. 20代から30代前半の男女
- ー. 厚生年金、企業年金等の受給資格者（定年退職組）
- ー. 転々としてきた転職組ではなく、一生懸命に一つのことに打ち込み、  
天命に素直に従って生きてきた天職組の人たち
- ー. 僧侶の場合は、パソコン技術と書道の習得をしている人
- ー. 一芸に秀でた人
- ー. 専門職（プロフェッショナル）
- ー. 企業戦士（企業家精神のある人）
- ー. 修行僧（「僧侶を目指すあなたたちへ」を参照）

※ 外部事業者については、女性活躍社会に貢献するためにも、30代から40代（理想的には）。主に女性（男性も可）で、優秀な人を求めています。

合掌  
令和3年7月8日  
見性院住職